SHARP®

手帳タイプ電卓 エルシーメイト　形名 EL-W310

取扱説明書

お買いあげいただき､まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に､「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

PRINTED IN CHINA
04GSC(TINSJ0758EHZZ)

安全にお使いいただくために

図記号について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味　⚠記号は、気をつける必要があることを表しています。
❗記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 注　　意

- 電池は誤った使いかたをすると、破れつや発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることもあります。以下のことをお守りください。
  ・電池のプラス“＋”の向きを正しく入れる。
  ・使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
  ・水や火の中に入れたり、分解しない。
- この製品に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

おねがい

- **日の当たる自動車内・直射日光の当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。**
  高温により、変形や故障の原因になります。
- **液晶表示部や太陽電池部はガラスでできていますので、強く押さないでください。**
  割れることがあります。
- **落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。**
  大きな力が加わり、壊れることがあります。
- **お手入れに揮発性の液体（シンナー、ベンジンなど）や、ぬれた布などは使用しないで、乾いたやわらかい布をご使用ください。**
  変質したり色が変わったりすることがあります。
- **この製品は防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。**
  雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

ご注意

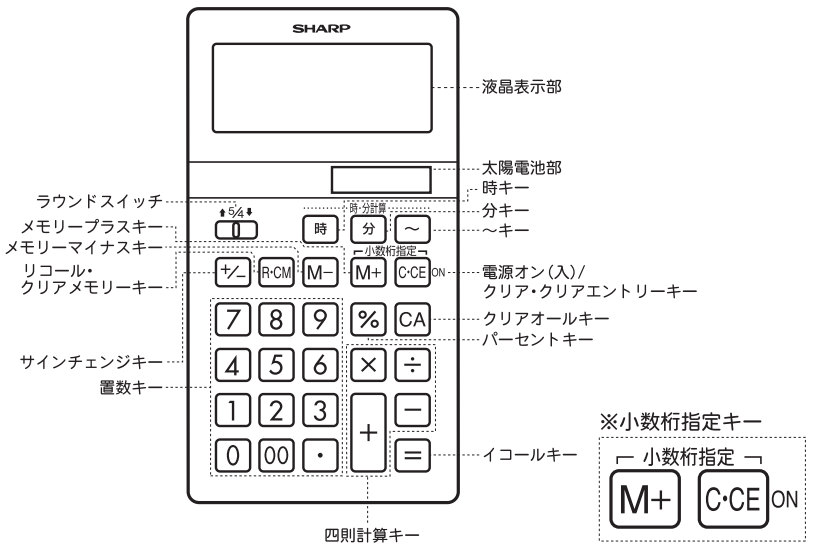
- この製品を取り出したとき、十分に明るいところであるにもかかわらず、表示が消えている場合は、C·CE ONを押してください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

仕様

形名	EL-W310
表示	液晶（8 桁× 2 行）
計算桁数（概算）	8 桁（9 ～ 16 桁）
計算機能	加減乗除、定数計算、メモリー計算、パーセント計算、べき乗計算、逆数計算、時・分計算など
電源	太陽電池（本体に組み込み） 3.0V ⎓（DC）：リチウム電池（CR2016）1 個（本体内蔵）
リチウム電池使用時間	約 2 年（内蔵リチウム電池のみで 1 日当たり 1 時間使用した場合） • 使用環境や使用方法により変動します。
自動節電機能＊	約 7 分
使用温度	0℃～ 40℃
外形寸法	幅 75 mm ×奥行 138 mm ×厚さ 10.5 mm
質量	約 77 g（電池含む、手帳型ケース含まない）
付属品	リチウム電池 1 個（本体内蔵）、手帳型ケース、取扱説明書

＊自動節電機能（オートパワーオフ機能）
この電卓は、約 7 分間キー操作をしないと、電池保護のため自動的に電源が切れ表示が消えます。使用状態により、数分の長短があります。新たに計算をするときは、C·CE ONを押してください。メモリーの内容は保持されています。

各部のなまえとスイッチ・主なキーのはたらき



C·CE ON 電源オン（入）/ クリア・クリアエントリーキー：

- 電源を入れるときに押します。
- 置数直後やメモリーの内容を呼び出したときなどに、1 回押せば表示数値がクリアされます。概算エラーを解除することもできます。
- 電卓内部の数値や計算命令をクリアするときは、2 回押します。
  （メモリーの内容はクリアされません。）

5/4 ラウンドスイッチ：
小数桁指定キーにより指定された小数部桁数の下位 1 桁目の処理方法を指定します。（例：小数桁指定が 2 の場合、3 桁目（小数第 3 位）が処理されます。）
⬆位置：切り上げ　5/4 位置：四捨五入　⬇位置：切り捨て

- 小数桁指定が F になっているときや、計算の途中結果など、小数部桁数が固定されない場合の端数は、上記指定にかかわらず切り捨てられます。

時 時キー：

- 置数直後などに押せば表示数値が時・分の“時”とみなされます。
- 置数直後などや結果表示後、このキーを押すたびに表示数値が 10 進数と 60 進数で交互に表示されます。
  （このとき小数部桁数は固定されません。また、端数は切り捨てられます。）

分 分キー：
置数直後などに押せば表示数値が時・分の“分”とみなされます。
ただし、小数点以下は無視されます。

～ ～キー：
このキーを押せば表示数値が開始時・分とみなされ液晶表示部の上段に“～”シンボルとともに表示され、終了時・分の置数待ちとなります。

+/− サインチェンジキー：
表示数値の符号を反転させるときに押します。

R·CM リコール・クリアメモリーキー：

- メモリーの内容を呼び出します。
- 2 回続けて押せばメモリーの内容をクリアします。“M”シンボルも消えます。

M− メモリーマイナスキー：
メモリーから減算します。

M+ メモリープラスキー：
メモリーに加算します。

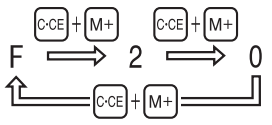
% パーセントキー：
パーセント計算を行うときに押します。

CA クリアオールキー：

- メモリーを含めて、電卓内をすべてクリア（ご破算）します。“M”シンボルも消えます。（設定した小数桁指定は保持されます。）
- 意味のない数字や記号を表示しているとき、C·CE を押しても解除できない場合に押します。

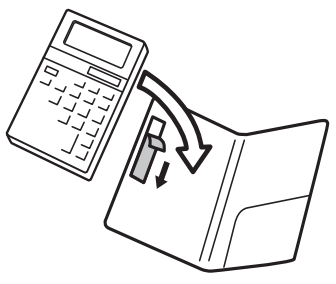
= イコールキー：
四則計算などで答えを求めるときに押します。

小数桁指定 M+ C·CE ON 小数桁指定キー：
C·CE を 2 回押します。続いて、C·CE と M+ を同時に少し長く（約 1 秒間）押す（以降、C·CE＋M+ と記載）たびに計算結果の小数桁指定が切り替わります。



F 指定：小数部桁数は固定されません。“浮動”になります。
2、0 指定：小数部桁数をそれぞれの桁数に固定します。

手帳型ケースの取り付けかた



液晶表示部　シンボルは、同時にすべてが表示されることはありません。

時･分計算では計算過程を 2 行表示（液晶表示部の上段に開始時･分、下段に終了時･分）します。
※　㊒：時・分計算で表示されるシンボル、無印：いずれの状態でも表示されるシンボル

左側上段のシンボル
F2
0　小数桁指定キーにより、それぞれが指定されたとき表示されます。

左側下段のシンボル
M　メモリーに 0 以外の数値が記憶されているとき表示されます。
▬　液晶表示部下段の数値が負のとき表示数値の左側に表示されます。
E　エラーが発生したとき表示されます。
═　=、%を押して答えを求めたとき、M+、M−を押してメモリーの加減算を行ったとき表示されます。

右側上段のシンボル
～　液晶表示部上段の表示数値が開始時・分であることを示します。：㊒

右側下段のシンボル
÷ × ＋ −　÷、×、＋、−を押したとき表示されます。

上段中央のシンボル
：　液晶表示部上段に表示される開始時・分の“時”と“分”の区切りです。：㊒

下段中央のシンボル
・　液晶表示部下段に表示される時・分（終了時・分など）の“時”と“分”の区切りです。：㊒

計算を始める前に

- 計算を始める前に C·CE を 2 回押して、電卓内部の数値や計算命令をクリアしてください。また、小数桁指定も確認してください。（これ以降の計算例では、特に指定のない場合は、小数桁指定 F で計算しています。計算するときは小数桁指定のシンボル“F”が表示していることを確認してください。）

時・分計算のしかた

時・分計算の専用キー[時]、[分]、[~]を使って、時・分計算の加減乗除算、定数計算、メモリー計算、パーセント計算を行うことができます。

なお、計算範囲は -9999 時間 59 分～ 9999 時間 59 分です。

- 時・分計算を行うときには、ラウンドスイッチの位置、小数桁指定を確認してください。
- “時”は、4 桁の範囲で設定できます。
- “分”は、0 ～ 999 の範囲で設定できます。
  60 以上を置数したときは、[分]または[~]を押したときに“時”に繰り上がります。
- 時間は 10 進数で入力することもできますが、1 分間の誤差を生じることがありますので、60 進数で入力して計算することをお勧めいたします。

例：勤務時間計算

午後 10 時 30 分から、翌朝午前 4 時まで働いた場合の勤務時間は？

	キー操作	表示	備考
①	[C·CE] [C·CE]	F 0.	
②	22 [時]	F 22:00	開始時・分の“時”を入力します。
③	30 [分]	F 22:30	開始時・分の“分”を入力します。（直前に置数[時]としたときの[分]操作は省略することができます。）
④	[~]	F 22:30 ~ 0.	
⑤	4 [時]	F 22:30 ~ 4:00	終了時・分の“時”を入力します。
⑥	[=]	F = 5:30	勤務時間が求まりました。

例：給料計算

時給 700 円のとき、50 分の休息を挟んで、午前 9 時から午後 5 時 40 分まで 20 日働いた場合の給料の月額は？

	キー操作	表示	備考
①	[C·CE] [C·CE]	F 0.	小数桁指定を F から 0 へ変更します。
	[C·CE] + [M+] [C·CE] + [M+]	0 0.	
②	9 [時]	0 9:00	開始時・分の“時”を入力します。
③	[~]	0 9:00 ~ 0.	開始時・分の“分”入力は不要ですので、[~]を押します。
④	17 [時]	0 9:00 ~ 17:00	終了時・分の“時”を入力します。
⑤	40	0 9:00 ~ 17:40	終了時・分の“分”を置数します。（40 [分]と操作してもかまいません。）
⑥	[−]	0 8:40 _	休息時間を含んだ労働時間が求まりました。
⑦	50 [分]	0 0:50 _	休息時間を入力します。
⑧	[×]	0 7:50 ×	休息時間を含まない労働時間が求まりました。
⑨	700	0 700×	時給を置数します。
⑩	[×]	0 54833333×	日給が求まりました。
⑪	20	0 20×	勤務した日数を置数します。
⑫	[=]	0 = 109667	給料の月額が求まりました。

＊勤務時間計算の②、③、⑤、⑥および給料計算の②、④～⑧で[時]を押すと 10 進数での値を表示します。以降、[時]を押すたびに 60 進数と 10 進数の値を交互に表示します。

- この電卓の 10 進数と 60 進数でのメモリー計算の組み合わせは次のとおりです。

（60 進数）[M+]（または[M−]）と（60 進数）[M+]（または[M−]）＝（60 進数）

（60 進数）[M+]（または[M−]）と（10 進数）[M+]（または[M−]）＝（60 進数）
（10 進数）[M+]（または[M−]）と（60 進数）[M+]（または[M−]）＝（60 進数）
（10 進数）[M+]（または[M−]）と（10 進数）[M+]（または[M−]）＝（10 進数）

- この電卓の 60 進数での演算仕様は次のとおりです。

加算（減算も同じです。）	乗算（除算も同じです。）
（60 進数）＋（60 進数）＝（60 進数）	（60 進数）×（60 進数）＝（10 進数）
（60 進数）＋（10 進数）＝（60 進数）	（60 進数）×（10 進数）＝（10 進数）
（10 進数）＋（60 進数）＝（60 進数）	（10 進数）×（60 進数）＝（10 進数）

基本計算のしかた

- [=]、[%]、[M+]、[M−]を押すと液晶表示部に“＝”シンボル、[÷]、[×]、[+]、[−]を押すと液晶表示部に“÷”、“×”、“＋”、“－”シンボルが表示されますが、この計算例の表示では記載を省略しています。

計算例	キー操作	表示
	[C·CE] [C·CE]	F 0.
(－24＋2)÷4＝－5.5	[−] 24 [+] 2 [÷] 4 [=]	F -5.5
13×(－4)÷2＝－26	13 [×] 4 [+/−] [÷] 2 [=]	F -26.
34＋57＝91 45＋57＝102	34 [+] 57 [=]（加数＋57が定数となります。） 45 [=]	F 91. F 102.
38－26＝12 35－26＝9	38 [−] 26 [=]（減数－26が定数となります。） 35 [=]	F 12. F 9.
68×25＝1700 68×40＝2720	68 [×] 25 [=]（被乗数 68 ×が定数となります。） 40 [=]	F 1'700. F 2'720.
35÷14＝2.5 98÷14＝7	35 [÷] 14 [=]（除数÷14が定数となります。） 98 [=]	F 2.5 F 7.
200×10%＝20	200 [×] 10 [%]	F 20.
(9÷36)×100＝25	9 [÷] 36 [%]	F 25.
200＋(200×10%)＝220	200 [+] 10 [%]	F 220.
$4^6=(4^3)^2=4096$	4 [×] [=] [=] [×] [=]	F 4'096.
1/8＝0.125	8 [÷] [=]	F 0.125
25×5＝125 －）84÷3＝28 ＋）68＋17＝85 182	[R·CM] [R·CM] ←計算の前にメモリーをクリアします。 25 [×] 5 [M+] 84 [÷] 3 [M−] 68 [+] 17 [M+] [R·CM] [R·CM]	F 125. M F 28. M F 85. M F 182. M F 182.
小数桁指定：F→2	[C·CE] [C·CE] [C·CE] + [M+]	F 0. 2 0.
72.4－37.321＋12＝47.08 (47.079*) ＊小数第 3 位を四捨五入します。	72.4 [−] 37.321 [+] 12 [=]	2 72.4 2 35.079 2 47.08

入力訂正のしかた

誤	正	訂正操作	表示
2＋3 →	2＋4＝6	2 [+] 3 [C·CE] 4 [=]	F 6.
5×2 →	5÷2＝2.5	5 [×] [÷] 2 [=]	F 2.5

エラーについて

次の場合はエラーとなり、“E”シンボルを表示します。このときは[C·CE]でエラーを解除してください。

① 除数が 0 の除算を行ったとき　例：5 [÷] 0 [=]
② メモリーの数値の整数部が 8 桁を超えたとき
（エラー解除後、メモリー内部の数値をクリアしたいときは、[R·CM] [R·CM]と押します。）
③ 負数を置数して[~]を押したとき
④ 60 進数で 24:00 以上を置数して[~]を押したとき
⑤ 10 進数で 24 以上を置数して[~]を押したとき
⑥ 計算の途中結果の整数部が 8 桁を超えたとき
⑦ 計算結果の整数部が 9 ～ 16 桁になったとき：概算
例：

9 8 7 6 5 4 3 2 [÷]
0.4 4 4 [×] → F E 2.2244466 ×
エラー解除 [C·CE] → F 2.2244466 ×
5 5 5 [=] → F = 1'234.5678
↑
億の位（概数 1234 億 5678 万）

ご注意：計算結果の整数部が 17 桁になった場合、概算はできません。

電源について

この電卓は光を電気に変える“太陽電池”と“リチウム電池”の 2 つの電源方式（ツインパワー）を採用しています。この 2 つの電源方式により、通常は太陽電池で動作し、使用中に光がさえぎられても、リチウム電池により計算内容などを保護します。

電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより電卓を傷めることがあります。
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電池交換の時期

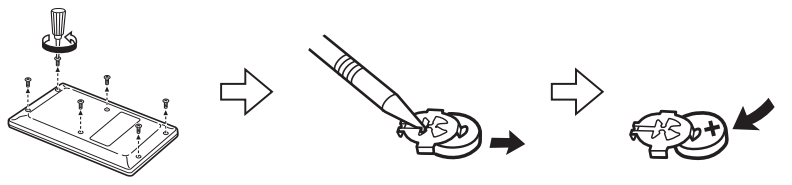
暗い場所で使用しているとき、次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- 正面から見た表示が薄くて見にくい。
- 自動節電機能（オートパワーオフ機能）が働いて表示が消えているとき、[C·CE]ONまたは[CA]を押しても何も表示しない。

電池交換のしかた（イラストは手帳型ケースを取り付けていない状態）

使用する電池はリチウム電池（CR2016）1 個です。

ご注意：電池交換をすると、メモリーの内容が変化・消失する場合があります。
また、小数桁指定も F に戻ります。



電池を交換したら

- [C·CE]ON[CA]と押し、液晶表示部の下段に“0.”が表示されることを確認してください。もし、“0.”が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度表示を確認してください。（光が太陽電池部に当たらないようにさえぎった状態で確認してください。）

お客様ご相談窓口のご案内

◆ 修理を依頼されるときは

仕様および使用上のご注意に従った正常な使用状態で、故障した場合には、修理ご相談窓口に修理をお申しつけください。保証期間中（お買いあげの日から 1 年間）は、無料で修理または同等品と交換させていただきます。

★ 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
（ロ）お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷
（ハ）過酷な使用による故障・損傷
（ニ）火災・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷
（ホ）電池の液もれによる故障・損傷
（ヘ）消耗品（リチウム電池）が損耗し取り替えを要する場合

◆ 修理ご相談窓口

修理は、（電卓）消費者相談係に郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お買いあげ年月日および販売店名（または、贈答品）、故障内容などを記入のうえ製品を郵送してください。（送料はお客様負担）

〒 639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町 492
シャープ株式会社　情報通信事業本部
（電卓）消費者相談係　電話　0570-05-0892
（当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。呼出音の前に NTT より通話料金の目安をお知らせいたします。）
注）携帯電話・PHS からは、下記の番号をご利用ください。
一般電話　（0743）55-0892

◆ 一般ご相談窓口

この製品についてのご意見、ご質問は、相談室へお申しつけください。

西日本相談室　（06）6794-8021　東日本相談室　（043）299-8021

- 電話番号をよくお確かめのうえおかけください。
- 電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電卓の補修用性能部品を製造打切後 5 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 修理にかえ製品と交換させていただく場合は、お買いあげいただいた製品と同一品または同等品との交換になります。（保証期間経過後は、ご要望により有料交換いたします。）